

全国民の7割超がワクチン接種を完了し、12歳未満の子どもの接種も、来年2月から開始される予定だ。『子供に接種を勧めるのか』判断を迷っている人も多いのでは。ここでは厚生労働省がホームページで公開している最新の情報やデータから、新型コロナワクチンの安全性について考えてみたい。

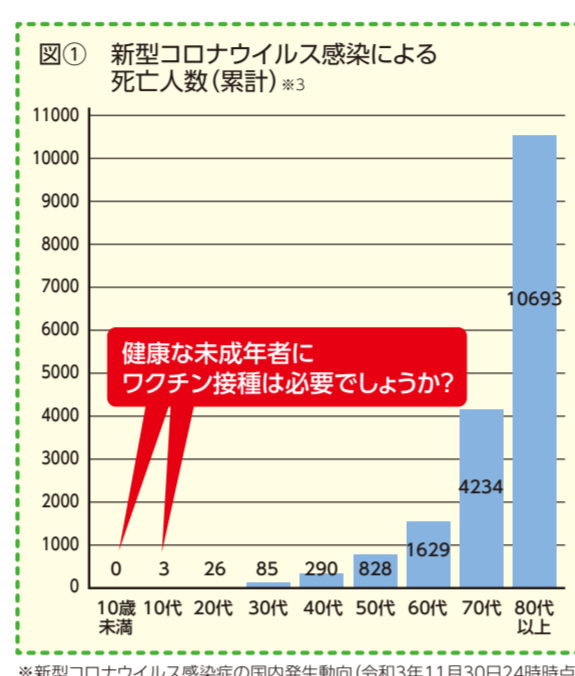
厚労省ホームページから「未成年接種」について考える

未成年者のワクチン接種後 重篤者296人・後遺症6人・死亡者5人

未成年者（0歳〜20歳未満）がコロナワクチンを接種するメリットは何だろうか？厚労省の資料（図①）によれば、未成年者のコロナ感染死はこれまでに3人いるが、その内の2人は重篤の基礎疾患があったことが分かっている。そしてもう一人はコロナ感染ではなく事故で亡くなり、その後のPCR検査で陽性反応が出たために「事故死」ではなく「コロナ感染死」扱いになったものだ（東京都発表）。つまり、「これまでにコロナ感染で死亡した健康な未成年者はほとんどいないし、重症化もほとんどしていない。

一方で、これまで新たな変異株が出るたびに、様々な専門家が「子ども」として、この状況に最大の影響を受けるのは、国や自治体が躍起になって広めた「周りの人のために接種すべき」というスローガンではないだろうか。「思いやりワクチン」で「親孝行ワクチン」や「大切な人を守るために」等のCMによって、たとえ自分自身に必要なとしても、子どもや若者も「家族や会社や社会のために接種すべき」という考え方が広く浸透し、同調圧力が生まれたととらえられる。

しかしその目的のために、子どもや若者達に自らの命や健康を賭かせること自体がそもそも非常識ではないだろうか。大阪府東大津市の南上市長は、大阪府立大学の井上正康名誉教授（分子病態学）から教示を受け、当初からこのような事態を想定していたため、若年層の接種に慎重な姿勢を示してきた。今後このような自治体も増えてくるかもしれない。



※新型コロナウイルス感染症の国内発生動向（令和3年11月30日24時時点）

この状況を招いた最大の要因は、国や自治体が躍起になって広めた「周りの人のために接種すべき」というスローガンではないだろうか。「思いやりワクチン」で「親孝行ワクチン」や「大切な人を守るために」等のCMによって、たとえ自分自身に必要なとしても、子どもや若者も「家族や会社や社会のために接種すべき」という考え方が広く浸透し、同調圧力が生まれたととらえられる。

厚労省の「誤情報」接種を躊躇させないため？

厚労省が「誤情報」を拡大していったことも大きな問題だ。厚労省の資料によると、ワクチン接種後死亡者1368人（11月14日時点）のうち1360人つまり99%以上のケースで因果関係が「不明」とされている。つまり接種が原因で多くの人が死亡したかどうかを厚労省も分からない。

「この誤情報によって国民に何の警戒もなくワクチンを接種させ、その結果子どもや若者も含め多くの人が亡くなった可能性を考えれば、厚労省の責任も問われかねないのではないだろうか。」

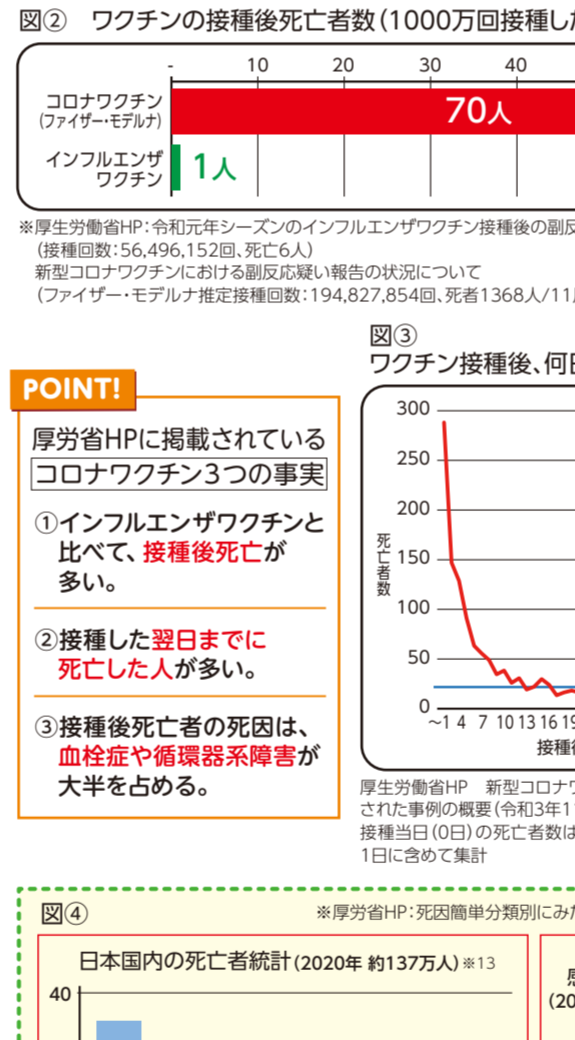
「接種が原因で多くの方が亡くなった」というのが、これまでに多くの国民が接種の判断材料にしたであろう厚労省のホームページ「新型コロナワクチンQ&A」には本当ですか？「接種が原因で多くの方が亡くなった」というのが、これまでに多くの国民が接種の判断材料にしたであろう厚労省のホームページ「新型コロナワクチンQ&A」には本当ですか？

ワクチン接種と13000人超の死亡は本当に関係ない？

未成年者にとって有害なものには、大人にとっても有害な可能性がある。事実、コロナワクチン接種後の死亡の中で、医師がワクチンの影響を疑って厚労省に報告した事例が、11月26日時点で1387人（ファイザー製1331人・モデルナ製56人）に達している。しかしワクチン接種現場で突然死亡した場合も含めて、厚労省は一人として因果関係を認めない。つまり、厚労省のホームページに明記されている通り「接種が原因で多くの方が亡くなった」という

「これはありません」という見解だ。そうだとすると、死亡した人たちはワクチンと関係なく、その時たまたま何かの病気で亡くなったことになる。しかし、それではなぜコロナワクチン接種後にたまたま大勢の人が死亡するの、インフルエンザワクチンでは、それが少ないのだろうか？（図②）その理由は「たまたまの死亡」ではないからと考えるのが普通ではないだろうか。そう考えると、コロナワクチンの接種そのものが原因で多くの人が死亡した可能性も考えざるを得なくなる。

また、ワクチンが生産機能に及ぼす影響についても注意が必要だ。ファイザー社が厚労省に提出している「薬物動態試験の概要文」には、ワクチンの成分が確実に卵巣や精巣上体にも集まる動物実験のデータがある。厚労省ホームページには「不妊にならない」との記載は一言もなく、ただ「現時点では、ワクチン接種が不妊の原因になるといって科学的な根拠は報告されていません。」と書いているだけだ。



※厚生労働省HP: 令和元年シーズンのインフルエンザワクチン接種後の副反応疑いの報告について（接種回数: 56,496,152回、死亡6人）
※新型コロナウイルスにおける副反応疑い報告の状況について（ファイザー・モデルナ推定接種回数: 194,827,854回、死者1368人/11月14日時点）

ワクチンの安全性は2023年5月まで不明

ワクチン接種に関しては、他にも心筋炎の症例が多かったり、不正出血や月経不順を訴える女性が多かったり、3回目のワクチン接種が必要になったり、厚労省も製薬会社も想定していなかったことが数か月の間にいくつも起こっている。その理由は、今回のワクチンが人体に用いるのが初めてであり、有効性も安全性も2023年5月まで不明（ファイザー）の「臨床試験の実験結果」だからだ。それは人体への長期的な影響が誰にも見えないことを意味する。

また、ワクチンが生産機能に及ぼす影響についても注意が必要だ。ファイザー社が厚労省に提出している「薬物動態試験の概要文」には、ワクチンの成分が確実に卵巣や精巣上体にも集まる動物実験のデータがある。厚労省ホームページには「不妊にならない」との記載は一言もなく、ただ「現時点では、ワクチン接種が不妊の原因になるといって科学的な根拠は報告されていません。」と書いているだけだ。

「これはありません」という見解だ。そうだとすると、死亡した人たちはワクチンと関係なく、その時たまたま何かの病気で亡くなったことになる。しかし、それではなぜコロナワクチン接種後にたまたま大勢の人が死亡するの、インフルエンザワクチンでは、それが少ないのだろうか？（図②）その理由は「たまたまの死亡」ではないからと考えるのが普通ではないだろうか。そう考えると、コロナワクチンの接種そのものが原因で多くの人が死亡した可能性も考えざるを得なくなる。

「これはありません」という見解だ。そうだとすると、死亡した人たちはワクチンと関係なく、その時たまたま何かの病気で亡くなったことになる。しかし、それではなぜコロナワクチン接種後にたまたま大勢の人が死亡するの、インフルエンザワクチンでは、それが少ないのだろうか？（図②）その理由は「たまたまの死亡」ではないからと考えるのが普通ではないだろうか。そう考えると、コロナワクチンの接種そのものが原因で多くの人が死亡した可能性も考えざるを得なくなる。

※この紙面の内容は、主に厚労省ホームページに掲載されている情報や新聞各社で報道された情報を基にしています。

【出典】

- ※1 全国民の約7割がワクチン接種を完了
https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/vaccine.html
- ※2 未成年者のコロナ感染死はこれまでに3人
https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000861520.pdf
- ※3 図①新型コロナ感染による死亡人数
https://www.mhlw.go.jp/content/10906000/000861520.pdf
- ※4 13歳未満の少年がファイザー製ワクチン接種後死亡
https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000862202.pdf
- ※5 ワクチン副反応疑い報告（副反応数・重篤者数）
https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000861721.pdf
- ※6 思いやりワクチン（一冊）
https://www.city.kuki.lg.jp/kenko/kenko_inryo/yobo_kansensho/covid19_vaccine/sesshukento.html
- ※7 大阪府東大津市
https://www.city.tsumisui.lg.jp/material/files/group/33/yoyomeisse12.pdf
- ※8 ワクチン接種後の死亡者数（ファイザー・モデルナ）
https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000862253.pdf
- ※9 「接種が原因で多くの方が亡くなった」ということはありませぬ
https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0081.html
- ※10 血栓症や循環器系障害が圧倒的に多い
https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000862253.pdf
- ※11 図②
コロナワクチン接種回数（ファイザー・モデルナ）
https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000862253.pdf
インフルエンザワクチン接種回数・死亡者数
https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000681710.pdf
- ※12 図③
ファイザー: https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000862202.pdf
モデルナ: https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000861755.pdf
- ※13 日本国内の死亡者統計
https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/akutei20/dl/11_h7.pdf
- ※14 心筋炎の事例が多い
https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000862253.pdf
- ※15 臨床試験の実験結果
https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0082.html
- ※16 河野太郎元ワクチン担当大臣ブログ
https://www.taro.or.jp/2021/06/%E3%83%AF%E3%82%AF%E3%83%81%E3%83%9C%E3%83%87%E3%83%9E%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6.php
- ※17 審議結果報告書
https://www.mhlw.go.jp/content/10601000/000739089.pdf
- ※18 薬物動態試験の概要文
https://www.pmda.go.jp/drugs/2016/P2016122001/300242000_22800AMX00727_1100_1.pdf
- ※19 「不妊の原因になる」という科学的な根拠は報告されていません」
https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0086.html
- ※20 井上正康大阪府立大学名誉教授について
https://www.inouemasayasu.net/

本広告では、ワクチンの「危険性」の一部を紹介しました。紙面で掲載できなかった、その他の詳しい情報は、下記ホームページをご覧ください。

右QRコードからもご覧いただけます。
ホームページ: <https://jcovid.net/>

株式会社ゆうネット
福岡県福岡市中央区天神4-1-17 2F
代表取締役 堤 猛
092-235-2470

皆様からのご支援で活動しております。

メールまたはQRコードより
ご意見をお寄せください

・本広告に対するご意見・ご感想をお聞かせください。
・ワクチン被害をなくすためにご自身やお知り合いの方がワクチン接種後に亡くなったり重大な健康被害に遭った場合には、因果関係が不明だとしても、その情報をお寄せいただければ幸いです。

Eメール
mail@dbank.jp